



8月度の御書

「千日尼御前御返事」

（真実報恩経の事）

御文

この経文は一切経に勝れたり。地走る者の王たり、獅子王のごとし。空飛ぶ者の王たり、鷺のごとし。

（御書新版1737ページ、御書全集1310ページ）

意味

この法華経の経文は、すべての経の中で最も勝れている。それは地上を走る者の王である獅子王のようである。空を飛ぶ者の王である鷺のようである。

負けられない心で、きょうも前進！

みんな、元気にしてる？ ライオン博士の「キング君」だよ！

今年のサッカーワールドカップを見て、とっても興奮したよ！ 国を代表する選手たちが、これまでの努力の成果を競い合う姿は、本当にかっこよかったなあ。ボクも「一番がんばれることを見つけたい」って思ったよ。

さて、きょう学ぶ御文は、生き方の「一番」を教えてください。日蓮大聖人は、法華経は、たくさんある教えの中で、一番すぐれていると言われているんだ。

なぜなら、法華経は「だれでもみんな尊い存在で、幸せになる力を持っている」と教えているからなんだ。どんな生命も大切にすること。このことが「教えの王」である理由なんだよ。

そして、その法華経の題目である「南無妙法蓮華経」を唱えるボクたちもまた、王のように堂々と生きることができるんだ。

たとえば、百じゅうの王と呼ばれるライオンがどんな敵でもおそれないように、何があっても負けられない強い心を持つことができる。

空高く飛ぶワシが、風にも負けず力強く羽ばたくように、どんな試練があっても勇気を持って立ち向かうこと

ができるんだ。

もしかしたら、思うようにいかず、壁にぶつかっている人や、新しい挑戦を前に、うまくできなかったらどうしようと不安でいっぱいの人人もいるかもしれないね。

でもね、勝負は、とちゅうで決まらないんだ。あきらめずにチャレンジして、最後に勝てば、大勝利なんだ！

つらい時は、がんばっている自分自身をたくさん、ほめたたえてあげよう。だってボクたちは、これから獅子王に成長していく、大切な「ししの子」なのだから。

勝つまで「負けられない」と決めた人が、王さま・王女さまの心を持った人なんだ。その「負けられない心」を取り出す方法が、「南無妙法蓮華経」の唱題なんだよ。

池田先生は語られた。「どうか、きょうも朗らかに題目を唱え、ししの子らしく、自分の夢に向かって、胸を張って前進してってください。愛するみなさんが、しし王に育って、夢をかなえながら、世界のために堂々と活躍してくれることが、私の最大の夢です」

さあ、「ししの子」のほこりを胸に、夢に向かってキックオフ！